

鹿児島県小学生バレーボール大会開催のガイドライン

鹿児島県小学生バレーボール連盟
7月8日改訂

1 試合会場およびコート

- (1) 感染状況・参加チーム数等を考慮したコート設定を行う。
- (2) 日差しの影響がない場合は、原則カーテンを開けて試合を行い、換気を十分に行うこと。また、試合中の換気ができない場合は、試合間を利用して必ずカーテンを開けて換気すること。
- (3) 更衣室は更衣スペースにゆとりを持たせる工夫をし、更衣室も換気ができるようにすること。(一度の入室制限・チームの入れ替え 等)
また、更衣室の消毒は使用したチームが責任を持って行えるようにアルコール等の準備をしておくこと。
- (4) 冷水機等の貸し出しは体調不良を除き原則禁止とし、飲用水は各チームで準備すること。
- (5) 会場に使用や立ち入りを許可された場所以外の使用は一切禁止とする。

2 大会の参加について

- (1) 大会参加チームはこのガイドラインに則して大会に参加し、感染症対策事項や各会場のルールを遵守し、率先して協力すること。また、これを遵守できない場合は、参加の取り消しや途中退場などを求めることがある。
- (2) 各チームにおいて、大会参加についての保護者の同意を得ること。同意書の書式は各チーム任意としチーム代表が保管すること。
- (3) 大会当日に参加チームは受付時に別紙のチェックリスト(ベンチスタッフ・選手・保護者等)と保護者等入館者名簿どちらも大会本部に提出し、チームの体調状況を報告すること。
- (4) チームは事前に県小連が準備するIDカードに入力・印刷し、選手・ベンチスタッフ・保護者等のすべてが大会期間中使用する。カード入れ等はチームで必ず準備すること。
- (5) チームにコロナウイルス感染者・濃厚接触者が判明した場合の対応については、以下の状況で判断する。

「選手・チームスタッフ個人への対応」

＜大会前＞

- ① 大会前2週間以内に感染が判明した場合
「保健所の指示により参加を認められる」ことが確認できなければ
ア その期間の当該選手、チームスタッフの出場は認めない。
イ エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。
- ② 大会前に濃厚接触者と認定された場合
「PCR検査において陰性が確実に確認され」かつ「発熱後の3日前まで接触がない」ことが確認できなければ
ア その期間の当該選手、チームスタッフの出場は認めない。
イ エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。
- ③ 大会前に濃厚接触者と認定される可能性がある場合
「その原因となる濃厚接触者がPCR検査において陰性であることが確実に確認できなければ
ア その期間の当該選手、チームスタッフの出場は認めない。
イ エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。

＜大会当日＞

- ④ 大会当日に発熱等の体調不良がみられる場合
ア その日の大会参加は認めない。試合の観戦や応援も認めない。
イ チームは保護者に連絡を取り帰宅させること。また、必要に応じて学校にも報告すること。
＜大会期間中＞

⑤ 大会期間中に感染や濃厚接触が確認された場合

(濃厚接触者との濃厚接触も含む)

上記①, ②, ③を適用する。

※ 該当チームは、理事長に確実に連絡すること。

理事長は、保健所に報告し指示をあおぐ。また、会場や対戦相手にも情報を共有しその後の対応について、チーム責任者と協議し、対応の決定を行うこと。

<大会後>

⑥ 大会後に感染が判明した場合

ア 症状発現の前後2日間が最も感染させやすい時期という報告から、大会後においても感染が判明した場合は、該当チームは理事長に確実に連絡すること。

イ 理事長は、保健所に報告し指示をあおぐ。また、会場や対戦相手にも情報を共有し、チーム責任者は、学校に相談しその後の対応を協議すること。

「チームへの対応」

<上記の「個人への対応」の全対応項目と合わせた「チームへの対応」>

当該選手、チームスタッフなどの個人をチームに読み替え、当該チームに上記

①, ②, ③のを適用する。

<関係学校が臨時休校や学級閉鎖等の措置をとっている場合>

⑦ 臨時休校が大会期間中にかかる場合は、該当校の選手は参加不可とする。

学校の一部が休校の場合(学級閉鎖・学年閉鎖等)は、大会への参加は保健所の判断に従うこと。

(特に、感染拡大防止の観点で判断すること。)

<インフルエンザやその他学校保健安全法等に定められた感染症について>

⑧ 施行規則に則った出席停止期間を適用し、エントリー選手の変更は従来通りとし特例措置は行わない。

3 試合運営について

(1) 試合会場の設定

① 会場において、設定時間およびチームが会場に入る時間等を工夫し、密集を防ぐ手だてを行う。

(2) 試合時間の設定

<全試合共通>

① 試合間は15分とする。換気を十分に行う。

② チームのコート入りや次試合の案内・指示を放送で行う。

<体育館開場から大会終了までの時間の流れ>

(例)

7:50	役員集合
8:00	会場設営(チームスタッフも入館)
8:30	受付及び監督会(全チーム) ・受付は監督が行う。 ・チェックリスト(ベンチスタッフ・選手・保護者等)と入館者名簿(保護者等用)の提出
8:45	<u>1試合目のチーム選手・補助員チームの体育館入館(2階で待機)</u>
9:00	1試合目の選手コート入り・チーム練習開始 1試合目の補助チーム準備開始 1試合目の保護者等体育館入館(5分前に集合、名簿にて確認) ※1試合目の補助員チームの保護者等は入館できない
9:19	プロトコール
9:30	第1試合開始
10:00	<u>2試合目のチーム選手の体育館入館(入館後2階で待機)</u>
10:15	2試合目の保護者等の体育館入館(5分前に集合、名簿にて確認)

以後の設定

・試合終了ごとに、保護者等は退館する。

- ・次試合の時間設定は、A・Cコートとも進行の遅い方のコートで設定する。
- ・試合終了後15分空けて、次試合のプロトコール開始。
- ・その間次試合のチーム練習は可とする。
- ・チームは、セット・試合終了後は使用ベンチの消毒をする。
- ・試合終了後、次試合に関係のないチームはコート及びフロアから退出する。(ベンチスタッフも)
- ・昼食時間は予選終了後30分設定する。
- ・第6試合の終了時刻の目安は午後5時、退館は午後5時30分。

4 応援について

- (1) 応援は12名(選手の家族、チーム関係者)までとする。12名を超えることは認めない。
- (2) 応援方法は拍手のみとし、声援・鳴り物等は禁止とする。
- (3) 当該チームの試合のみ応援できる。試合終了後は、応援者は退館する。

5 全体注意事項

- (1) マスクの着用
 - ① 試合中以外はマスクの着用を確実に行うこと。
 - ② ベンチに座るスタッフ・選手は適切な距離を確保し、マスクを着用すること。アップゾーンの選手もマスクを着用すること。
 - ③ 審判補助員もマスクを着用すること。
 - ④ マスクは透明の袋等に一人ごとに入れ、誰のものかわかるよう保管すること。
 - ⑤ 応援者やチームの待機時にもマスクを着用すること。
- (2) 入館
 - ① 最初の入館の際は、選手・ベンチスタッフ、保護者等も検温する。
 - ② 入館時に混雑しないよう、入館時刻を設定する。選手等の入館は試合設定時刻の30分前とする。保護者等は、試合設定時刻の20分前に入口に集合し名簿で確認ができたのち、試合設定時刻15分前に入館を開始する。
- (3) 使用場所
 - ① 各チーム応援場所は指定しないが、チームごとに適当な距離を取る。昼食は、指定された会場外でとり、距離を空けるなど感染防止に努める。
 - ② チームは消毒液(アルコール等)を準備し、試合後や退館の際に使用した場所を必ず消毒すること。
- (4) その他
 - ① 入館者チェックを各コートの審判をするチームに依頼する。
 - ② フラッグがあるチームは持参する。記録員は、筆記用具を持参すること。